

再発・転移を防ぐ 癌がわかる 腫瘍マーカーの教科書

医師・看護師・鍼灸師など腫瘍マーカーの見分けがわかると治療が理論的にになります

医学博士・医師 小林 常雄 著

特異マーカー、関連マーカー、増殖マーカーから出る情報の3つの組み合わせで再発・転移などのリスクがわかる!

単独の特異的腫瘍マーカー → 複合マーカーで診断
フェリチン(FT)を血清鉄で割ったものは腫瘍の拡大との相関が高い

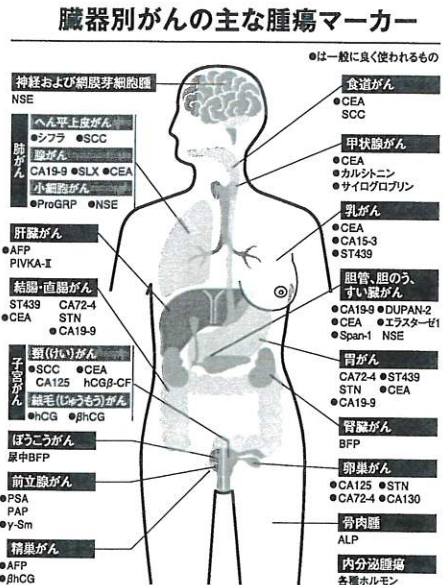
フェリチン(FT) → 高くなる……腫瘍の拡大を予測
血清鉄(Fe) → 低くなる……腫瘍の縮小を予測

※がんの増殖状況では血清鉄(Fe)に対して、フェリチン(FT)は増加することが多い。
※FT/Feの診断法は、米スローンケタリングがんセンターの論文をベースに著者が考案。

医師・治療家のための専門書

早期発見・早期治療をしても、がんによる死亡者数は減少していません。

四六判・128頁
定価2,420円(税込)

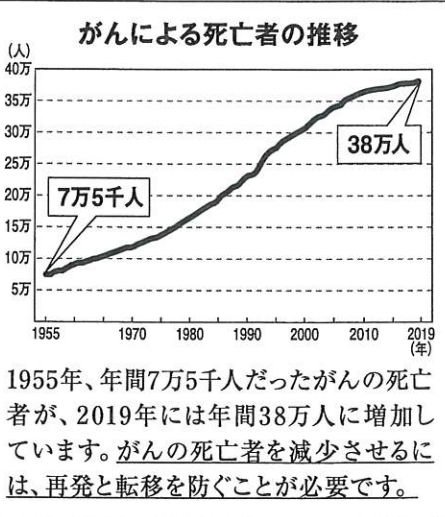


がんの検診や治療に膨大なエネルギーを費やしながら、日本でがんによる死亡者数がいっこうに減らないのはなぜか?

乳がんの死亡者は、子育て世代が多く、検診で早期発見しても、再発をする場合が多い。再発と転移を防ぐことが大切。公的保険の制度改正も今後の課題です。

鍼灸師やコメディカルスタッフが、腫瘍マーカーの知識を身に付けると治療が科学的になります。これからは、「治療の診える化」も必要です。

臨床検査技師 橋口 修



Amazon 第1位 (東洋医学5/17~18) 化学療法、手術、放射線に+第4の治療法を探る

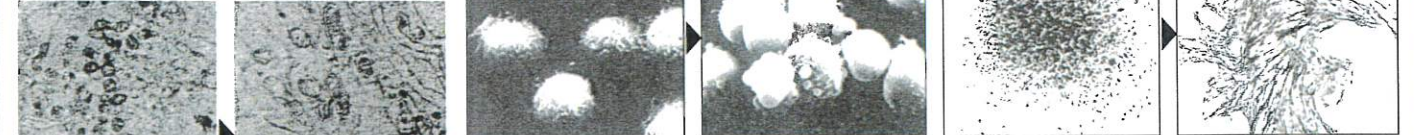
癌・温熱療法の科学

改訂版 1,000人以上の医師・研究者が読んでいます。

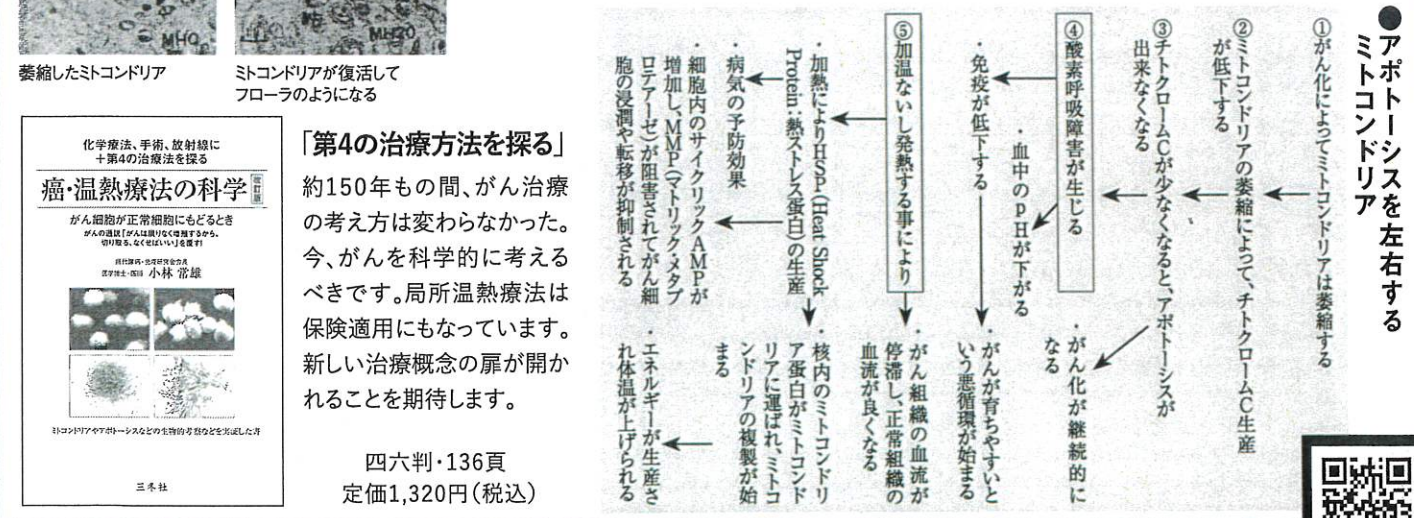
～がん細胞が正常細胞にもどるとき～ 医学博士・医師 小林 常雄 著

がんの通説「がんは限りなく増殖するから、切り取る、なくせばいい」を覆す!
「正常細胞はなぜがん化するのか」「がん細胞は正常細胞にもどるのか」「がん細胞が正常細胞にもどるとき条件は何か?」
がんは熱に弱い、ミトコンドリアとがん、正常細胞が熱エネルギー不足になった時など、生物学的考察・科学的理論と臨床を結び付けた話題の本を改訂復刻! ……今ではミトコンドリアががんなどの病気にかかわることが通説になっています。

正常細胞は主に酸素で、がん細胞は解糖で代謝します。



白血球細胞(左/未処理 右/1.5%DMSO処理後5日目) 電子顕微鏡
卵巣がん細胞(左) 卵巣がん細胞の線維芽細胞への再分化(右) 光学顕微鏡
※画像はシャーレの中で確認されたもので、人体で確認されたものではありません。人体でも同様の事が起こると推測すべきです。



「第4の治療方法を探る」
約150年もの間、がん治療の考え方は変わらなかった。今、がんを科学的に考えるべきです。局所温熱療法は保険適用にもなっています。新しい治療概念の扉が開かれることを期待します。

四六判・136頁
定価1,320円(税込)

